

シンナガサキミーティング開催レポート

i n 虹が丘小学校区



令和6年9月1日（日）、自治会や民生児童委員、育友会、育成協など18人の皆さんにお集まりいただき、虹が丘小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、自治会活動や高齢者サロンの取り組み、子どもたちの登校パトロールなど地域のためにやっている活動や、虹が丘地区で暮らしていく中で日頃感じていることなどをお話いただきました。



いただいたご意見

①道路や歩道の安全管理・維持補修について

バスのロータリー出入口に横断歩道も停止線もないが、通学路なので子どもたちの安全が心配。また、街路樹の根が張って道路が盛り上がったところがあり、車椅子の方がバランスを崩すと危ないので補修できないか。

市の考え方

回答

横断歩道と停止線については、警察の所管であるため、今回のご要望の件は、管轄の浦上警察署にお伝えしますが、改めて地元の方からもご相談いただければと思います。

また、街路樹の成長により根が歩道のブロックや舗装を持ち上げ、歩道が凸凹になる根上がりが生じているところは、歩行者の通行に支障をきたす状況となることから、日常点検や市民からの通報などを受け、その都度、修繕に努めています。該当箇所がありましたら中央総合事務所地域整備1課にご連絡ください。

②災害のシミュレーション体験について

他都市には、地震や水害を体験できる施設がある。災害のシミュレーション体験することは大事だと思うので、長崎市でもできないか。

市の考え方

回答

県が所有している地震体験車は、特定の施設まで行くことなく、地域の広場等で実施することが可能であり、最大震度7まで体験できるため、地域の訓練時には好評をいただいています。

希望があれば地域の防火・防災訓練時に利用可能ですが、予約状況にもよりますので、早めに防災危機管理室又は各消防署にご相談ください。

③地域の避難所について

避難所について、大きな避難所に頼るのではなく、近くの公民館や集会所など身近なところを開けたりできるように、ちょっとした毛布や飲み物を準備しておくといいのではないかと。

市の考え方
回答

市が指定している避難所とは別に地域で運営している避難所（地域避難所）は、自ら必要な食糧や物資を準備する自助、地域の皆様が助け合い・支えあう共助の精神から開設されており、避難者にとっても地域の顔なじみの方が運営するということでストレス軽減につながることから、円滑な運営をしていただけるよう市も支援を行っています。

地域避難所への支援としましては、施設の安全性などの必要な助言を行い、毛布や板張りの避難スペースにジョイントマットを配布しているほか、大規模災害時には物資供給などの支援についても指定避難所に準じて行っております。

④子育て世帯向けの市営住宅の入居期間について

子育て世帯向けの市営住宅について、下の子が中学校ぐらいのタイミングで退居しないといけませんが、まだ子育ての真っ最中だと思う。子育て世帯向けなら、子育てが終わるまで入居できるようにならないかと。

市の考え方
回答

大園アパートなど一部の住宅については、子育てに適した公営住宅への期限付入居を実施しています。長崎市営住宅条例により、子育てに適した公営住宅に入居させることができる期間は、10年としていますが、特別の事情があると認められる場合、一定の要件を満たしていれば、入居期間を延長することができます。なお、延長できる期間は、入居期間が満了する日の翌日から、同居し、かつ、扶養している全ての者が義務教育を終了する年の9月末日までとしています。

新たな子育て世帯にも順次利用してもらえるようにするため、入居期間を定めていますので、ご理解のほど、よろしくお願いします。

そのほか、「小学校の通学区域はどのように考えているのか」、「大園団地余剰地を有効に活用してほしい」、「子どもの遊び場を増やしてほしい」、などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。



鈴木市長のひと言

ご参加いただいた皆さんが、様々な立場で地域のために活動をされていることがよく分かりました。人口減少、少子高齢化が進むなか、ちょっと工夫すれば、地域としてできることがあるなどあらためて思いました。

今後も、皆様の取り組みをしっかりと後押しさせていただきたいと思っております。



参加者からの感想

市長と直接、近くで話が出来て良かった。誠実な対応が良かった。

普段、なかなか他自治会の問題点がわからないので、こういう集まりの中で、それらを話し合い解決し、より良い環境を作っていければと思います。

今後の自分の在り方と子育て、地域の方々との関わる為の良い機会となりました。

地域の中で地域の色々な課題を出し合って、話し合わなければいけないと思いました。

